



地域で支える福祉活動について
村の考えは？

光風会 恵利 いつ 議員

議員 5年前から村の委託事業としてはじまったNPO法人の楽茶の間のふれあい食事会や、3年前から地域で取り組まれてきたふれあい型食事サービスは、多くの高齢者に喜ばれているが、来年度はこれまでの活動の中で見えてきた課題点を改善し地域福祉の充実をはかるため、事業の見直しを行うようですが、具体的にはどのようなを考えているのか伺う。

福祉部長 ふれあい型食事サービス事業は、これまで地区社協の設立と活動の展開において一つの役割を果たしてきたと認識しています。今後、地区社協の活動は各地域の特性やニーズに合わせた多様な活動を行い、村全体の事業という制約のない地域のための自由な活動を展開していく時期ではないかと考えております。各地区の独自性を踏まえ、児童や母子、障がい者や若い世代の家庭、高齢者まで含め、地域の住民による活動をステップアップしていただきたいと考えております。このようなことから、ふれあい型食事サービス事業は今年度末を

もって終了とし、食事会を介した高齢者の介護予防事業についてはNPO法人楽茶茶の間に委託してまいります。今後も高齢者の皆様が楽しく利用できるようなNPO法人の充実を図るとともに、社会福祉協議会と連携しながら地区社協活動への支援をしてまいりたいと思っております。



議員会より 福島県の被災地にお見舞金送付

東海村議員会では、このたびの東日本大震災による東京電力(株)福島第一原子力発電所の放射性物質漏えい事故により、避難区域に指定された福島県浪江町、双葉町、大熊町、富岡町、楢葉町の5町へ、各10万円ずつお見舞金を送付しました。

この5町と東海村は、全国原子力発電所立地市町村議会議長会の構成自治体として、これまで原子力発電をめぐる諸問題について組織的に協力して調査・研究や情報交換を行ってきました。

被災された皆様からのお見舞い申し上げますとともに、1日も早くこの難局を乗り越え復興することができまますようお祈り申し上げます。

なお、東海村へのお見舞金として、刈羽村議会議員会から5万円、柏崎市議会議員会から10万円、全国町村議会議長会から30万円が届けられています。



被災地の様子